



あなたも
チャレンジ

家庭菜園



園芸研究家
成松次郎

ニンニク 適期に植え付け、追肥と灌水を行う

図1 畑の準備

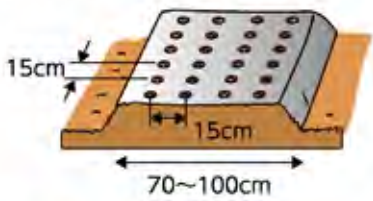


図2 種球の準備



図3 植え付け



小片の上に5cmの土ががぶさる深さまで押し込む

図4 わき芽かき



手でかき取る

図5 収穫



図6 貯蔵



中央アジア原産と推定されるヒガンバナ科の多年生草本で、生育適温は15〜20度、暑さに弱く、寒さには比較的強い野菜です。栽培は秋に種球を植え付け、初夏に収穫します。
強い香りの成分は硫化アリルで、体内で豊富に含まれるビタミンB1と結合すると疲労回復効果があります。
【畑の準備】 植え付け2週間前までに、1平方m当たり苦土石灰200gを施して土に混ぜておき、1週間前に化成肥料(NPK各成分約10%程度)100gと完

熟堆肥を2kg施します。その後、幅70〜100cmの畝(ベッド)を作り、穴の間隔が15cm程度の黒マルチフィルムを張ります(図1)。
【植え付け】 9月上旬ごろに休眠が明けてくるので、種球を小片(鱗片・りんぺん)にはらし(図2)、寒冷地では9月中旬〜10月上旬、温暖地では9月下旬〜10月中旬に植え付けます。小片頂部を上にもルチ穴(15cm間隔)に深さ5cm程度に浅く植えます(図3)。
【わき芽かき】 芽出し後に1株から2芽以上出たときは、生育の良い1芽を残して、手で早めにかき

取ります(図4)。
【追肥・花蕾(からい)摘み】 成長が再開する翌春2月と3月に1平方m当たり化成肥料50g程度を追肥しますが、マルチ栽培では所々穴を開けておきます。とう立ちしてつぼみが付いたら、球の肥大に影響があるため花蕾を早めに摘み取ります。畑の乾燥に弱いため、特に春先からの灌水(かんすい)が必要です。
【収穫】 初夏になり、葉が半分くらい枯れたら、晴天日に抜き取って根を切り落とし、畑で2〜3日乾かします(図5)。その後、茎を30cmほど残して切り取り、10球程度を束ねて風通しの良い軒先などに干します(図6)。
※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

好評
発売中

園芸書 コーナー

NEW コップひとつから始める ゆる〜い野菜づくり

発売中 定価：1,210円(税込)

コップに土を入れて種を捲くだけで育てられる「コップ栽培」と、ベランダで作る「プランター栽培」を約40種紹介。育て方は写真を使って丁寧に解説。野菜を作ってみたけれどハードルが高いと悩む人におすすめ!

家庭菜園の初心者から上級者まで、幅広い方におすすめの園芸書をご紹介します。野菜づくりの参考に、ぜひどうぞ!



卵のパックやミニトマトの容器など身近にある物を使用し、簡単に野菜づくりが始められます。

キッチンやベランダで立派に育ちます。



お近くのJAへお申込みください。家の光園芸の情報はインターネットでもご覧いただけます。 [家の光ネット](http://www.ienuohikari.net) <http://www.ienuohikari.net>